



宮城県・古川で20億円弱の鶏舎建築を受注

一社完結型の施工体制の確立で圧倒的な競争力

職人不足に対応して住宅分野でも応用

宮城県古川で、20億円弱の鶏舎建築を受注し建設を進めている。一社完結型の施工体制の確立が、他社に比べて約30%のコスト削減を実現し、受注獲得の決め手となった。住宅分野での応用も検討する。

この工事工程の専門業者に仕事を依頼して、分業で進めるのが一般的だ。しかし、外注費がかさめば、当然トータルの建設コストも上がる。情報共有の齟齬などから予定通り工期が進まないことも珍しくないという。

これに対して、たかくらは、職人不足の課題に対する独自の解決策として、

建築業の経験がない素人でも作業できる仕組みの構築、工程のシンプル化などを進める。造成・基礎・木材加工・建て方・外装工事・配管・配電といった、鶏舎建築の一つひとつの工事工程を20人ほどの社員で、一気通貫で請け負える一社完結型の施工体制を確立す

ることで、圧倒的な競争力を実現している。一つのひとつの工事工程をより簡略な仕組みにして、経験の浅い職人でも短時間で技術を習得できるように工夫、多能工化することで、ベテランの職人でなくとも対応できるようにした。

こうした一社完結型の施工体制の整備を地道に進めてきたのは高倉社長だ。「我々の仕事は、建設需要があるところに出張して仕事を進めなければいけない。しかし、遠方まで来てくれる職人は少ない。家族持ちの人からは特に敬遠される。仮に出張して遠方に来てもらっても、割高な賃金を要求されるの



高倉社長自ら、重機に乗り造成を行っていた。高倉社長は、「現場でみんなと和気あいあいと仕事をした方が楽しい」と話す

たかくら（兵庫県豊岡市）は、代表の高倉卓男氏が2019年4月設立、総合建設業、木造施設建築を手がけ、特に鶏舎の新築並びに改修工事、空調工事に強みを持つ会社だ。2×4コンボークラフト工場のウイングは23年6月、鶏舎需要の高まり、木質化の推進に対し、材料から施工までのワンストップサービスと専門性の高いソリューションを提供することを目的に、たかくらと業務・資本提携契約を締結、子会社化した。

鶏舎建築の世界では分業化が進んでおり、商社などから鶏舎建築の工事を請け負ったゼネコンなどが、一つひと



たかくらは、宮城県・古川で、約20億円弱の鶏舎建築を受注。一社完結型の施工体制の整備により、圧倒的な建築コスト削減を実現したことが、受注の決め手になった



若い社員も定着し、実績を積みリーダーとして現場の工事進行を担う人材も増えている

で採算が合わない。であるならば、素人でも対応できるように工事工程自体を見直そう、そうしないと人が集まらないと考えたことがそもそのスタート。すべての工事工程を素人でも対応できるようにワンパターン化していった。一つの工程を覚えれば、次のステッ

プとして別の工程を覚えるというようにステップアップして多能工化していく。成長を実感できればやりがいにもつながっていく」と話す。

遠方での工事では、現場の近くに一定期間、たかくらが賃貸アパートを借り上げ、社員たちがそこを生活拠点と

して工事を進める。そのほか、現場の美化に配慮し、最新設備の導入、動きやすくかついいユニフォームの採用などにより、若い世代や女性も働きやすい環境を整備。建設業のイメージ改善にも注力している。

従来の分業制から脱却 移動する工場

このように一社で全工程を完結できる体制を確立し、従来の分業制からの脱却を実現したことが競争力強化につながっている。

現在、宮城県・古川で20億円弱の鶏舎建築の案件を受注、同業他社と比較して、約30%工期短縮コスト削減できることが受注の決め手になったという。鶏舎建築は、投資目的のシビアな世界であるだけに、建築コスト削減効果は、圧倒的な競争力強化につながる。たかくらの橋本宰代表取締役会長（ウイング常務）



橋本会長は「『移動する工場』の仕組みを、住宅建築においても応用していきたい」と話す。背景は、現場に隣接する古民家で、社員たちで改修し、デスク仕事、休憩所として活用している

は、「この仕組みは、いわば『移動する工場』。建設需要があるところにチームで移動して対応することができると話す。

国産材の効率的な活用法も開発

また、北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 技術部生産技術グループの大橋義徳 研究主幹や北海道の瀬上製材所、大分県の佐伯広域森林組合との協力のもと2×4建築における国産材の効率的な活用方法、製材歩留まりを高めた設計方法を開発中で、実用化の段階にあるという。たかくらの一社完結型の施工体制の強みと合わせてさらに競争力強化を図っていく考えだ。橋本会長は、「新しいアプローチでバリエーションの無駄を減らし、製販分離や一気通貫の仕組みの精度をさらに高めるとともに、社員、チームを増やし、住宅建築においても応用していきたい」と話す。